

特 記 仕 様 書（その1）

下妻市役所 建設課

1. 総 則

本工事の施工にあたっては、「下妻市契約規則」並びに「下妻市建設工事執行規則」及び「茨城県土木工事共通仕様書」の外、本仕様書によること。

2. 工事内容

工事内容は、別紙工事概要書によるものとする。

3. 関係法令等の遵守と手続き

本工事の施工にあたっては、関係法令及び諸官庁の通達、工事施工に関する協定事項等を遵守し、諸官庁署への届出及び許可等の手続きは、速やかに行ない監督員に報告すること。

尚、これにかかる費用は、一切請負人が負担する。

4. 施工管理

施工管理は「茨城県土木工事施工管理基準及び規格値」による外、必要と認められる試験は、監督員の指示により請負人の負担で、実施しなければならない。

5. 現場代理人の兼務

本工事の請負人は、本工事の現場代理人が他の一つの工事の現場代理人を兼務するときは、あらかじめ連絡員を指名のうえ、以下により兼務することができる。

- ・ 兼務に当たっては、現場代理人は、一方の現場に偏ることなく適切に現場を管理しなければならない。
- ・ 作業期間中に現場代理人が他の工事の兼務のため不在となるときは、連絡員が当該現場に常駐しなければならない。
- ・ 兼務に係る工事について、安全管理の不徹底に起因する事故の発生、その他現場体制の不備が生じた場合は、その後の、当該請負者に係る下妻市発注工事においては原則として兼務を認めない。

6. 工事用仮設備

本工事用の仮設備は、請負人の負担で借地により用地を確保し、設置しなければならない。

尚、土地所有者との賃貸交渉に際しては、事前に監督員と十分協議し、借地しなければならない。

7. 工事一般

本工事の施工管理にあたっては、「茨城県土木工事管理基準」を準用する。

(1) 現場状況の確認（設計図書の照査）

- ・ 工事施工者は工事着手に当たり、事前に現場確認を行うこと。設計図書とのくい違い及び工事範囲内に記載されていない内容については、着手前にその内容について、監督員と協議を行うこと。
- 各設計図に記載する寸法等については、参考寸法であるため施工前に現場実測を行い、相違がある場合は監督員と協議すること。

特に現況舗装厚については事前に確認し、必要に応じ工事範囲の変更協議を行うこと。

(2) 現場内の安全管理

- ・ 工事区域内の交通に関しては、道路の使用許可条件を遵守し、十分な危険防止対策を施すこと。

- ・現場内の安全管理及び、工事用車輛も含めた、自動車や歩行者等に対する交通安全管理について、昼夜間の安全管理計画書を、監督員に提出すること。
- ・工事看板等は「茨城県土木工事保安対策技術指針」を準用する。

(3) 施工

- ・請負人は、仕様書・設計図書及び図面等によるほか、これらに明示されてない事項でも、以下に挙げる設備の調整が施工上必要とされる場合は、請負人の負担で具備しなければならない。
- ただし、請負人の負担が膨大となる場合は別途、監督員と協議するものとする。

【設備例】

水道制水弁篋、マンホール(下水道、空気弁、消火栓)、簡易看板、その他監督員が必要と認めるもの。

(4) 工事時間の制限

- ・日々の工事時間は、作業開始 8時30分、作業終了17時00分を原則とすること。

(5) 提出書類

- | | | |
|-------------|---------------|-------------|
| 1) 実施工程表 | 2) 現場代理人届 | 3) 材料使用届 |
| 4) 産業廃棄物協定書 | 5) COBRIS 調査票 | 6) その他関係書類等 |

- ・必要に応じて作成、提出しなければならない書類

- | | |
|------------|-----------------|
| 1) 下請負人通知書 | 2) 建設リサイクル法関係書類 |
|------------|-----------------|

8. 排出ガス対策型建設機械使用の原則化

本工事の使用機械のうち、バックホウ、ブルドーザ、ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ等は、排出ガス対策型とすること。また、現場代理人は、排出ガス対策型機械を使用する場合、使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、調達が困難な場合は、その旨の理由書を監督員に提出し承認を受けること。その場合、機種によっては契約変更の対象にするものとする。